

Weekly Paper ◆ Suisan Shinbun

# 週刊水産新聞

平成28年  
(2016年)

2月8日

第 876 号

毎週月曜日発行

発行所 / 株式会社 水産新聞社  
〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目9番地1 エコネットビル5階  
ご購読・広告お申込は▶ 電話(011)210-5073 FAX(011)210-0947  
(平成10年2月25日第三種郵便物認可)

URL: <http://www.suisan.jp/> E-mail: [sapporo@suisan-np.co.jp](mailto:sapporo@suisan-np.co.jp)

4月から始まる電力完全自由化に伴い道内では北電以外の企業も続々と電気事業に参入しています。事業所はじめ各家庭でも自由に電力会社を選ぶことができるようになってきました。

選択のポイントはやはり電気料金が今よりも安く、将来も経営持続可能な大手企業。季節需要の強い水産業界にはアマンDコストを下げるプランをもつ新電力をおすすめします。

根室の中堅水産会社では新電力会社に切り替え基本料金単価を2割カットして年間数百万円も削減する試算を示しました。あるいは稼働率の高まる季節のみを新電力会社から部分供給を受けることで北電の基本料金を抑制することも可能です。北電が配布する過去1年間の使用実績表を弊社に送っていただければ直ちに適切な新電力会社



## あかりみらい

越智文雄社長  
1957年生まれ。80～09年北海道電力、電気事業連合会勤務。08年北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局。北海道観光ホテル・旅館地球温暖化対策協議会事務局長。現在、政府のあかり未来計画の達成に向け節電、地球温暖化対策の啓発に取り組む。

道内では泊原発の休止に伴い電気料金の値上げが2度繰り返された。冷凍冷蔵庫を抱える水産業界では莫大なコスト増に悩む中、省エネ・節電コンサルタントの(株)あかりみらい(札幌市、越智文雄社長)はLEDの導入をはじめ多くの公共施設や大手企業などに確かなコストパフォーマンスを提案、実績を重ねてきた。稼働が特定の季節に集中する業界事情にも精通する。根室、釧路、函館の水産加工場も提案を採用している。越智社長に聞いた。

## 電力完全自由化向けベストメニュー提案

# 節電 水産業界に朗報

のプランを試算します。

一方、安倍内閣は昨年、2020年までに白熱灯や蛍光灯を生産中止とする施策を決め、省エネ効果の高いLEDの完全普及を目指しています。LEDは販売競争の激しい札幌では地方よりも格段な相場があり、弊社では地方でもこの特別価格で販売します。導入時のインシャルコストは分割払いやリースを使い、毎月の料金軽減により実質投資負担ゼロとなる提案もできます。

今年度補正予算では「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」(補助率3分の1)を盛り込み、3月には公募が始まります。またフロン法改正によるコストアップに対抗するには環境省の冷凍庫への補助金があります。電力完全自由化の対策や各種補助制度の無料セミナーをはじめ補助金申請代行にも応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい(問い合わせは下記広告参照)。